

## 第2回八千代市幼保小連携推進委員会会議録

1 日時 令和8年2月13日(金)

開会 15時05分

閉会 16時20分

2 場所 八千代市教育委員会 第1会議室

3 議事 (1) 幼保小連携基本方針(八千代市接続期カリキュラム)について

(2) 令和8年度以降の会議等予定

4 出席者氏名

委員長	阿部 学
副委員長	向 智広
委員	鷹野 達矢
	藤澤 彩
	瀬口 朗子
	遠藤 香織
	池田 あゆみ
	堀江 厚子

事務局

子ども保育課長	佐藤 宏一
子ども保育課副主幹	長谷川 千穂
子ども保育課主任主事	鈴木 真央
教育センター主任指導主事	櫻井 和歌子

5 公開または非公開の別 公開

6 傍聴定員 5名

傍聴人数 0名

7 所管 教育委員会 教育センター  
子ども部子ども保育課

阿部委員長

本日の出席委員は 8 名となり、本委員会設置要領第 6 条第 2 項の規定により委員の半数以上の出席に達しておりますので、ただいまから、令和 7 年度第 2 回八千代市幼保小連携推進委員会を行います。

### 議事 1 「幼保小連携基本方針（八千代市接続期カリキュラム）について」

阿部委員長

それでは、次第により「議事 1 幼保小連携基本方針（八千代市接続期カリキュラム）について」を始めさせていただきたいと思います。第 1 回の委員会での協議をもとに、八千代市接続カリキュラムについて、どのような変更を行ったのか説明をお願いします。

事務局(櫻井主任指導主事)

資料 1「八千代市接続期カリキュラム(案)」, 資料 2「前回会議における委員意見一覧」をご覧ください。

第 1 回の委員会の中で、資料 2 にありますようなご意見をいただきました。そのご意見を受け、「育てたい力についての表現方法の変更」、「生きる力の表記」、「アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの割合の均等化」、「それぞれが汽水域のように混じり合うデザインへの変更」、「育成をめざす資質・能力の統合」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の力と各教科のつながりを明記」というように変更を行いました。そして、それを委員の皆様にお送りさせていただき、ご意見をいただいたものが、資料 1 の「接続期カリキュラム(案)」と書かれた A3 の用紙です。朱書きとなっている部分は、送付させていただいたのち、事務局の方へいただいたご意見となります。

委員の皆様には、特にこの朱書きの部分について、ご審議をお願いしたいと考えております。

阿部委員長

ありがとうございました。

それでは、今の事務局の説明に対して、委員間で議論を行っていきたいと思います。この朱書きの部分について、ご意見のある方は挙手をお願いします。

遠藤委員

始めの「一日の生活に見通しをもって行動しようとする。」のところに「見通しをもち、自分のことは自分で行えるよう」という部分を付け加えることを提案させていただきました。学校は学習をする場なのですが、自分のことを行うのがたどたどしい子もいて、目指していくところを入れるとスムーズに学習の方にも移行できるのかなと思いま

した。

#### 瀬口委員

事務局の方には、前回のものから、すっきりと分かりやすくまとめていただきありがとうございました。これからいよいよスタートするに値する素晴らしいものだと感じています。

遠藤委員からお話があったところについて、小学校側からとすると賛成の気持ちがあり、明記していただいた方がありがたいです。ですが、幼稚園、保育園側からすると少し強く感じられるのであれば、ご意見を伺えたらと思うところです。

#### 藤澤委員

「自分のことは自分で行えるよう行動しようとする。」とすると、少し言葉のつながりが悪いかなど。身の回りの手順を躰けていくことは大事なことだと思いますので、「自分で考えて行動する」とか、あるいは自立心にもつながりますので「主体的に考えて行動する」とか、間に言葉が入るとつながるかなという感じを受けます。

#### 鷹野委員

もともとの表現が、幼稚園の教育要領などに書かれたものが根底にあると思うのですが、今回遠藤委員から付け足していただいた内容は、自主性の部分として、別の項目として載せるのもいいのではと思いました。

#### 遠藤委員

項目を増やしてしまっているのかということもあって付け加えましたが、そこは皆さんのご意見に合わせられればと思います。

#### 阿部委員長

「行う」と「行動する」が重なっているので、そこに違和感が出ているということだと思いますので、「自分のことは自分で行おうとする。」としてもシンプルに伝わるという気もします。

#### 堀江委員

自分のことは自分で行えるよう、と明記してしまうと、小学校入学前までにこうあるべきというゴールを示してしまっている気がします。保育の中では、小さい頃から子ども自身のやりたいという気持ちを大切に、日々、積み重ねていくと、年長の終わる時期には自分で生活を進められるようになります。「自分で見通しをもって」というところができるようになっていきます。

ですので、「見通しをもって」という中に「自分自身のことができる」ということが含まれているので、その追加は必要ないと思うところです。

阿部委員長

言葉をどう解釈していくかは、話合いのプロセスが大事だと思いますので、全てを書き込まなくても、こういう概念が含まれているなど、話合いの中で解釈を決めて運営していくこともできます。

ここは「行いたいと思う」や「やってみたいと思う」という意図になりますか。

藤澤委員

「自主的に」とか「主体的に」という表現に置き換えるというのも一つですね。

阿部委員長

「自分のことは自分で主体的に行動しようとする」という表現でしょうか。

鷹野委員

書き方を合わせるとそのような形ですね。

阿部委員長

到達目標である「主体的に」と書いて、そこにはこのような意味がある、と解釈していくことは妥当なところはあると思います。

藤澤委員

話をお聞きして、よほどできていないのだなと思いました。それでも援助が必要なお子さんは中にはいますので。個別な事案は結構あります。

遠藤委員

その割合が年々増えてきているような気もしています。けれどもこれが到達目標というわけではなく、その方向にみんなで向かっていきましょう、という意味合いです。絶対やってくださいということではありません。このように文章になると捉え方が違って伝わらないこともあるので、どう書いたらいいか分からなかった部分もあります。

阿部委員長

将来的な話にはなりますが、誤解が生じやすい文言はその都度見直していければ良いと思っています。意見をすり合わせて「主体的に」という文言を付け足しますが、これが到達目標でなくて願いのようなものであることを、丁寧に他の先生方には伝えていくこ

とは必要であると感じました。

藤澤委員

「絵（絵画制作）」について、絵だけでなく、造形、立体的な工作、協同制作もやりますので、それを含める意味で「絵画制作」を加えました。

阿部委員長

「絵」だけではないというところから、「造形」という表現を付け足しても分かりやすいと思われそうですが、いかがでしょうか。

藤澤委員

「絵、造形」あるいは「絵画制作」のどちらでもいいと思います。

堀江園長

私は、「絵」という表現をしているこの文章を、日頃の子どもの姿をよく表していると思いました。制作を加えるとしたら、「絵または制作」としたら分かりやすいかなと思いました。

子どもたちが友達や大人に伝える大切なツールとして、身近なものとして絵があることを表すには、難しい言葉を使わないで「絵」のみで表した方がいいのではないかと思います。

藤澤委員

「絵」というのは、何かに書いてあった表現を引用したのでしょうか。

事務局(櫻井主任指導主事)

絵だけに特化して、という意味ではありませんが、制作というと大作の完成をイメージさせられることもあり、言葉で上手に伝えられない子が簡単な絵を使って伝えようとすることができるという場合を考え、「絵」と表現させていただきました。

瀬口委員

思い返すと、絵は苦手だけれど工作で表す子もいたりしますね。

藤澤委員

「友達とイメージを共有しながら」というあたりから協同制作をイメージします。みんなまで話し合い、工夫しながら一つの物を作り上げるという活動は年長児として園でも大事にしているところです。

阿部委員長

育ってほしい姿として 5 歳児の終わりくらいを想定すると、絵だけではなく、みんなで作り上げるというような協同制作のニュアンスもあった方がいいということでしょうか。

藤澤委員

単にコミュニケーションの手段として書いているだけではなく、10 番の「豊かな感性と表現」ということにもつながってくるので、「様々な方法で表現しようとする」という中には、「絵画制作」が堅苦しいようであれば、「絵や造形」と入れていただくのがよろしいのではないのでしょうか。

瀬口委員

そもそも、保育要領などでは、どのような表現になっているのでしょうか。

藤澤委員

保育所保育指針の「豊かな感性と表現」では、「心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる」です。

鷹野委員

保育指針などは、思想的な高尚な書き方がされていますが、私が実際に子どもたちを見ていてそれを実現していると思うのは、砂場遊びとかブロック遊びとかその中で、例えば、作り始めはただの城しかないところに他の子が自分の知っている経験から川をつけ足すなどして膨らみが見られて、そのようにして共有が図られていくという場面です。

園で共同制作を作る時は、ある程度こちらからの指示でやるようなものになるので、自主性のレベルとしては少し下がってしまうのかなと、見ていて思うところではあります。

阿部委員長

ありがとうございます。

「人の意見に耳を傾け」というところについては、いかがでしょうか。

遠藤委員

それも私が意見させていただきました。没頭してしまうと、自分の事に精一杯になって人の言葉が入っていかないお子さんが結構いますので、人の意見や話をよく聞けるよう

になってくれると嬉しいと思いました。

阿部委員長

人の意見を聞くという力は大事で、幼保の段階でも丁寧に育みたいと思われていらっしゃると思います。「自分とは違う意見があることを知り」という文言に包摂されている感じもありますが、強調するかどうかというところでしょうか。

藤澤委員

保育指針の「言葉による伝え合い」の中でも「相手の話を注意して聞いたりし」とあるので、入れて良いのではと思います。

阿部委員長

では、付け足すということによろしいでしょうか。  
それでは、全体として、気になることはありませんか。

藤澤委員

1つは、幼保小の連携の例のところ、4月に授業参観とありますが、これは公開の保育参観や授業参観を指しているかと理解してよろしいですか。保護者ではなく学校との連携として。

もう一つは、地域・家庭との連携のところ、学校の方で「授業参観・懇談会、HP・・・」とありますが、園でも同様にありますので入れていただけたらと思います。

事務局(櫻井主任指導主事)

保育参観・授業参観については、お互いの保育、教育がどのようにされているかというのをお互いに知る必要があると思っておりますので、保育園、幼稚園、認定こども園の先生方が小学校の授業を参観に行く、小学校の先生が保育園、幼稚園、認定こども園の日常の様子を参観に行く参観をイメージしています。

藤澤委員

公開ないし、交流という文言をカッコ書きで入れていただけたらと思います。

事務局(櫻井主任指導主事)

小学校は4月に保護者向けに授業参観がありますので、それに園の先生方も参観いただくと2回行うという負担はなくなるので、同じタイミングでできたらと思っています。保育参観については、例で12月・1月になっていますが、それぞれの地区で実際に行われるタイミングに合わせて、参観させていただけたらと思います。

2点目の地域・家庭との連携に、保育参観等を加えることは可能ですので、入れさせていただきます。

阿部委員長

子どもが主体のところと大人が主体のところは書き分けるなどして、保育参観、授業参観のところは、初めて見る人にはどういうものか疑問がでるところだと思いますのでかっこ書きをしていただけたらいいと思います。

それでは、本接続期カリキュラムは、この会議での意見を踏まえて微修正をしていただき、完成としたいと思います。

## 議事2「令和8年度以降の会議等予定」

阿部委員長

次に、議事2「令和8年度以降の会議等予定」についてです。令和8年度以降の会議等の予定について、事務局より説明をお願いします。

事務局(櫻井主任指導主事)

資料3の「令和8年度以降の会議等予定案」をご覧ください。

令和8年度以降は、幼保小合同会議を年に2回行うことを考えています。第1回の委員会では3回としていましたが、令和8年度は初年度ということで、2回とさせていただきました。今後、幼保小の交流が進み、関係が深まったところで合同研修会を開催するのが良いのではないかと考えております。

第1回は「八千代市接続期カリキュラム」について全体に説明させていただいた後、各地区に分かれ「一年間の交流計画づくり」、「情報交換」を行います。第2回は、全体で代表地区の発表を行った後、各地区に分かれ、「次年度の交流計画」、「情報交換」を予定しております。

また、地区割については、現在既に交流を行っているところは優先的に同地区とさせていただきます。それ以外は、こちらで学区内の幼稚園、保育園、認定こども園を入れさせていただきました。しかし、勝田台南小学校、八千代台小学校については、学区内に園がなかったため、近くの小学校と同地区とさせていただきます。

また、萱田小学校と萱田南小学校は、学区で見ると、萱田南小学校に AIAINURSERY 八千代中央がありますが、萱田小学校と AIAINURSERY 八千代中央は既に交流がありますため、2校の小学校を同地区にしました。同様に村上小学校の学区内に村上南保育園がありますが、村上東小学校と既に交流が行われております。ですが、村上東小学校の地区に園が多いため、かっこ書きとしております。

以上が、令和8年度以降の会議予定のご説明になります。

阿部委員長

いよいよ次年度以降の実行に向けた具体的な計画になります。  
事務局の説明に対して、ご質問のある方はお願いいたします。

瀬口委員

小学校の方では、先日の校長会議でも今行っている会議について周知されたので認識を持っているのですが、ここに載っている園については、八千代市でもいよいよ始まることを認識していらっしゃるのでしょうか。進捗状況を教えてください。

事務局(櫻井主任指導主事)

周知はこれからで、どのように行っていくかは課題です。

瀬口委員

民間保育園等の管轄や集約は子ども保育課ですか。関係保育園へ周知はされているのですか。

事務局(佐藤課長)

担当課としては子ども保育課になります。周知は今の時点ではまだです。

瀬口委員

八千代市内の園はこれに載っている園で全てですか。声がかからない園はないですか。

事務局(櫻井主任指導主事)

認可されている園については、こちらに記載されている園で全てです。

事務局(佐藤課長)

地区割等が決まりましたら、周知をさせていただきたいと思っておりますが、実際に全ての園から賛同いただけるかどうかは強制的にはできないので難しいと考えております。周知の際に園の方からご意見をいただいた場合は、説明をしていきたいと考えております。

瀬口委員

民間の保育園が一堂に会する機会はあるのでしょうか。

事務局(佐藤課長)

保育園，認定こども園で，理事長，園長会議が年度末にあります。幼稚園に関しては，市を介してお集まりいただいているものはありませんので，周知方法は考えていかなければと思っています。

藤澤委員

小学校区での地区割はこれで決まりですか。具体的な交流活動を考えると，1対1になったり，学区と実際に多くの児童が行く小学校が違うということもあったりもして，少し広く幅を持たせないで，偏りが出てしまうようにも感じました。

また，スケジュールが決まりましたら，お知らせについては口頭でも行えますが文章で各園に送っていただいた方がいい気がします。

阿部委員長

周知の仕方は今後の課題として考えていくとして，この地区割の案では，少し難しいでしょうか。

藤澤委員

大和田小学校は，1対1になっています。

事務局(櫻井主任指導主事)

大和田小学校については，学校の方に調査をしまして，学区にあるのはかがやきの森保育園ですが，入学児童の多い園を伺った時，八千代台幼稚園と大和田西保育園からの児童が多いということでしたので，その2園を大和田南小学校のグループから大和田小の方へ移動させ，大和田南小に対して4園，大和田小に対しては3園という形に変わっていくと思っています。

やはり学区内にある園だからといって最も多くの児童が入園するかというのは別なところもあるので，なるべく多くの児童がスムーズに小学校生活へ移行することがカリキュラムの目的であると思いますので，そういった部分を考慮しながら組んでいきたいと思っております。

阿部委員長

そういった部分は，この案にはあまり反映されていないのですか。

事務局(櫻井主任指導主事)

小学校区に対しての園が少ないところに関しては調査しましたが，そうでないところについてはまだ調査できておりません。公立園に関しては，必ず出席いただけると思いま

したので、そこに対しての調査はしていないのと、既に交流があるというところには、出席いただける可能性が高いと思い調査しておりませんが、お話を伺い調査の必要性を感じましたのでしていきたいと思います。

阿部委員長

他にも懸念点がありましたらお願いします。

鷹野委員

村上北小学校も1小学校に1園で、私学の幼稚園になります。先ほどお話がありましたように幼稚園は既存のカリキュラムを大事にしているところが多く、参加が難しいとなると、実現しなくなる可能性もあるかなと思います。

藤澤委員

1つの小学校ではなく、例えば3つの小学校とそこに通う幼稚園、保育園というように、複数で一緒に行った方が良いのではという気がします。

参観できる日の調整や話し合いへの参加など、1つの小学校だけで考えるよりも、複数での交流の方がやりやすいのではないのでしょうか。学校による差も出てくると思いますので。

阿部委員長

小学校の現場としては、このあたりはいかがでしょうか。

瀬口委員

私の学校では、6園に対して1つの学校だけでやっていますが、やりやすいと感じています。それが2つ以上の学校で大きいグループとなるとどうやるか難しいところもありますが、これからやるというところにとってはいいのかもしれない。みどりが丘第2小学校とは合体しながら今のままできそうです。

阿部委員長

ペアを組んでおくという方法も一つあります。その中で分かれてもいいですし、一緒に検討するというのもできるのではないかと思います。

5月21日の会議の時に、各園や学校の意見からグループを移動するということもありえますでしょうか。

鷹野委員

例えば、学区は近いけど、交流は遠方の他園だとすると、幼保小連携対象の年長児の移

動手段なども考えなければならないので、実現するにはそのあたりの幼保側のやりやすさの都合もあるのかなと思います。他には実施する時間帯の都合もあると思いますので、変えさせていただかないと実現できない、ということになってしまう可能性もあると思います。

阿部委員長

区分けの案を一度投げかけて意見を伺うことが理想ですが、数ある要望を調整しきれない懸念もあると思いますので、どうでしょうか。

瀬口委員

その日に意見を伺うと、収拾がつかないこともありますので、まず、現在交流があるところは、そのまま良いと思います。交流が無いところと、公立園、委員関係園の二重丸がついていないところを、先生方とやりとりしながら調整するのがいいと思います。

阿部委員長

可能な限り、事前に調整できたらと思いますが、大和田小学校へ2園を移動させる以外に、先ほどの村上北小学校の件がありますが、どうですか。

遠藤委員

行き来はありませんが、村上北小学校は村上北保育園との手紙のやり取りはあります。

阿部委員長

村上北保育園を村上北小学校へ移動することはできますか。

堀江委員

はい。村上北小学校、村上東小学校のどちらでも大丈夫です。

遠藤委員

村上南保育園とも、手紙のやり取りがあったと思います。

阿部委員長

そこで調整できそうですね。あとは、新設のみどりが丘第2小学校は、先ほど、みどりが丘小学校と一緒にやっていただくことも検討できるということでした。大和田西小学校は、対する園が1園だけですが、交流があるからできそうでしょうか。あとはどうでしょうか。

瀬口委員

西高津小学校はどうでしょうか。

事務局(櫻井主任指導主事)

西高津小学校から、次年度は若葉ナースリ・スクールから最も入学する児童が多いとご回答いただいているので、若葉ナースリ・スクールを西高津小学校に移動した方が良いと思います。

藤澤委員

高津地区は少ないので、高津小学校と西高津小学校で一緒にやるというのはどうでしょうか。

瀬口委員

交流園がこれまでになかったところは合体する、というのはいいかもかもしれません。

藤澤委員

全ての園が参加協力するとも限らないし、小学校にも温度差があると思いますので。小学校はできればゆるく広く組んでいただいた方がいいと思います。

阿部委員長

割と柔軟な組み方をしても、事前に分け方の意図を説明した際に難しいというご意見をいただくこともあると思うので、そのときに調整するというのでいいと思います。

瀬口委員

睦小学校は睦北保育園の1園だけですか。

堀江園長

睦小学校は、緑が丘方面からも来ていますね。

瀬口委員

睦、緑が丘地区で一緒にしたらどうでしょうか。

向副委員長

交流を実際に行うと考えた時には、子どもたちの交流もあるので、近くの間所ということもある程度組まなければならないことと思います。また、コロナ感染症流行の時期もあり、幼保小連携の経験がない先生が小学校、幼保ともに多くなった今、ある程度の枠組み

を作らないと交流ができないのではないかということもあったので、細かく区分けをしたのですが、確かに1園1小学校のところは不安な面もありますので、区分けを大きくしてまとまってきて良いと感じています。

#### 阿部委員長

グループ分けについて多くの意見をいただきました。会議の回数など会議予定についてはいかがでしょうか。

#### 鷹野委員

1回目で計画づくり、2回目で報告書の提出とありますが、ここには記載されていないけれども、この中間の半年間くらいで、各グループが集まって実施するということですか。

#### 事務局(櫻井主任指導主事)

報告書といっても形式ばったものではなく、今年度はこのような交流をやってみました、というくらいのもを報告として考えています。初年度なので、どのような交流ができるのかということ自体もまだ分からないところだと思いますので、発表を通して、交流のやり方についてヒントをお互いに得るようなものになればと思っております。

#### 鷹野委員

5月の1回目で打合せした内容をもとに実際やってみて、その発表や報告を2月に行うということですね。

#### 事務局(櫻井主任指導主事)

そのとおりです。1回目に各学校や各園の年間の行事予定を持ち寄って、授業参観やお祭りの参加などの計画についてお話しいただき、その後は各学校と各園でやり取りしながら、1回2回でも交流ができれば嬉しいと思っております。もちろん、できなかったという結果になることもあると思うので、個々の地区のできる範囲で行っていただき、交流ができた地区はぜひ発表していただけたらと思います。

#### 池田委員

小学校、幼稚園、保育園、認定こども園が初の顔合わせで、70名近く一斉に集まった場合に、この議題を地区ごとにかたちにするのかイメージし難いところもあります。地区が固まっていないので地区での話し合いがまず直ぐにできない、ということが前提にありますし、集まって地区を決めて、それから計画を立てるというのを1回目の1日で行うのは具体的に難しいのではないかという印象を受けますが、いかがでしょうか。

藤澤委員

地区ごとに集まる機会を別に設けていただくというのはどうでしょうか。小学校が主体になるようなかたちで、そこに園が紐づくと思いますが、具体的な計画づくりは地区ごとでやるような方向で示していただけたらどうかと思います。

阿部委員長

日程を決める自主的な打合せを何月くらいに行い、何月くらいにこうなっている、というような目安を示していただけたらいいのではないのでしょうか。ガイドラインのようなものが多少でもあるといいと思います。

瀬口委員

進め方は様々ですので、指定せず、小学校でリードするというかたちで自主性に任せるといえるのでしょうか。集まったら分からない人たちだけという地区もあるとは思いますが。

藤澤委員

各地区の会議体では小学校 1 校の負担が大きいと感じますので、初年度は大きな括りで複数の小学校で担って中規模くらいで話し合い、交流の方向性や見通しができてきたら、細かく分かれていくのがいいのではないのでしょうか。

阿部委員長

事務局は、小学校 1 校の地区は、各小学校 1 校に任せていけるという認識でしょうか。

事務局(櫻井主任指導主事)

計画の案は、初年度の第 1 回目ですので、この 1 回だけで計画を全て決めてもらうということではなく、幼保小の交流の第一歩として先生方の顔合わせであり、つながる機会として捉えたいと思っております。ですので、この 1 回だけで計画が作れるのかということに関しては、もちろん作れないと思っております。ですが、1 回目の会議は、この関係づくりとして意味あることと事務局では考えています。

阿部委員長

関係づくりをし、その後、話し合いが進まないところは、事務局担当者が助言をしていくと思いますので、地区に任せきりにはならないとも思います。

事務局(櫻井主任指導主事)

交流の計画が事前に分かれば、事務局もその様子を見に行かせていただいたりもした

と思います。

藤澤委員

やはり地区ごとに集まって話し合う機会を設けないと難しいですね。次回に地区ごとで集まる日程も1回目の会議の時に決めてもらうようにした方がいいですね。

鷹野委員

実際に今交流があるというところがどのようにされているか、情報が共有されていないので、共有していただけたらと思います。

もう1点は、会議の時間帯の希望が園によっても異なると思いますが、実施する時間帯の調整もお願いしたいと思います。

阿部委員長

未実施の園が1回目の会議でイメージを持つことができるよう、紹介の仕方をご検討いただければと思います。

会議の時間帯についてはどのような予定ですか。

事務局(櫻井主任指導主事)

午前中は園や学校もありますので、会議は本会議同様に午後を予定しています。ご意見いただければ検討いたします。

阿部委員長

他にご意見はありますか。

向副委員長

遠藤委員にお伺いします。村上北小学校は村上北保育園とのやり取りがあると先ほどお話があって、もう少し広くしてもいいのではとのお話でしたが、村上北小学校と村上東小学校の地区分けを一緒にするというのはどうでしょうか。

遠藤委員

できるのではないかと考えています。私がいたときは明青幼稚園ともやり取りがありましたし、一緒でも良いという気がしました。

阿部委員長

議事2については、本日もございました意見としまして、会議については、1回目の会議は顔合わせのようなものではあるが進め方など内容を検討いただきたい、時間帯の配慮

もお願いしたい、グループ分けは意見があったところを改めて整理して調整できれば、というところでございます。

#### 阿部委員長

それでは、本日の議事はすべて終了いたしました。

長時間にわたり議事の進行にご協力いただき、また委員の皆様には、貴重なご意見等をいただき、ありがとうございました。

八千代市幼保小連携推進委員会設置要領第2条にありますように、本日、幼保小連携基本方針である八千代市接続期カリキュラムの策定を終え、委員会としての役割を果たすことができたと考えております。

事務局には、本日、提示されたご意見等につきまして、来年度以降の施策に反映していただければと思います。

事務局から何かございますか。

#### 事務局(佐藤課長)

本日は、八千代市接続期カリキュラム、令和8年度の幼保小合同会議を見据えた計画についてご議論いただき、また、委員の皆様には、1年間にわたり、八千代市の幼保小接続期カリキュラム策定にご協力いただき、ありがとうございました。

任期につきましては、今年度の末までとなっておりますが、本日の会議が最後となりますが、これからは、八千代市の幼保小連携の本当の意味でのスタートとなると考えます。今後も、八千代市の幼保小連携の推進が図られるよう、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。委員の皆様には、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

#### 阿部委員長

ありがとうございます。今、事務局からありましたが、これからは本当の意味でのスタートとなりますので、委員の皆様には、これからもご支援・ご協力お願いいたします。

それでは、以上で令和7年度第2回八千代市幼保小連携推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。